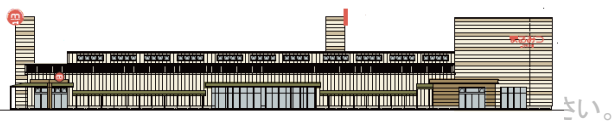
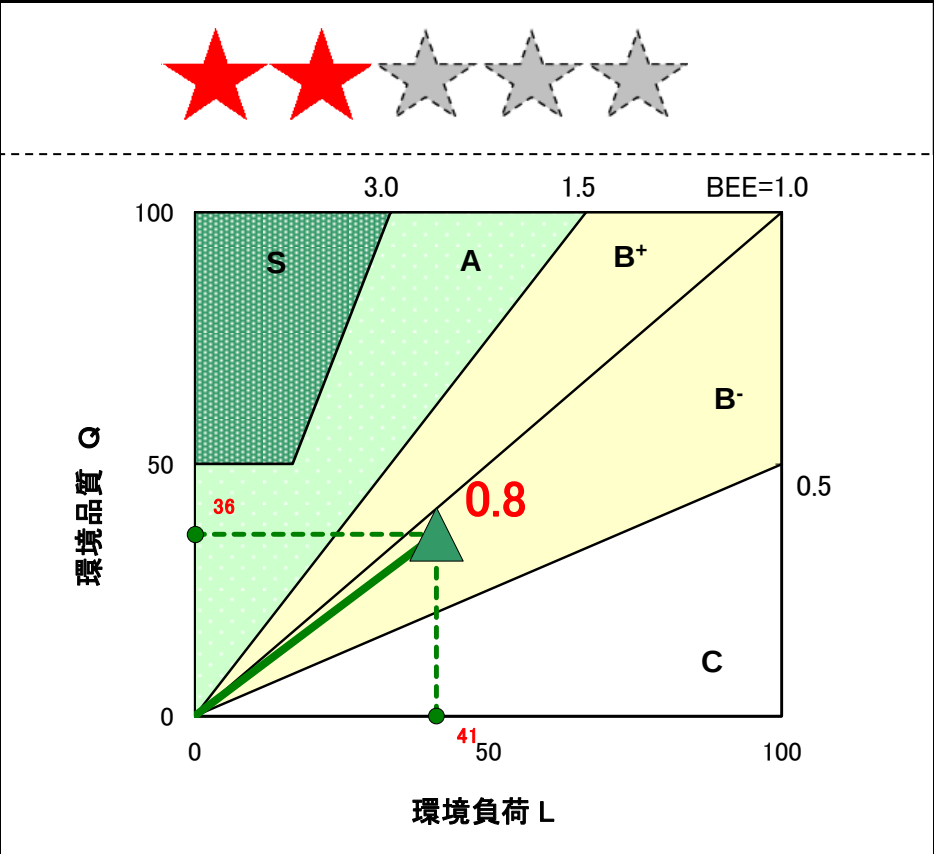


CASBEE®熊本《新築》【性能表示】

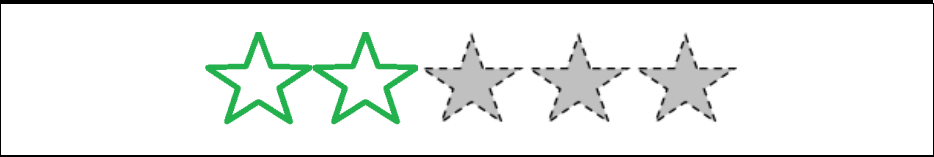
■ 建物概要				■ 外観
建物名称	(仮称)まるみつ浜線店	階数	地上2F	
建設地	熊本県熊本市南区田迎6丁目99-1	構造	S造	
用途地域	都市計画区域内 準工業地域	平均居住人員	1,000 人	
気候区分	6地域	年間使用時間	4,300 時間/年	
建物用途	集会所	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2017年3月 予定	評価の実施日	2016年11月1日	
敷地面積	10,918 m ²	作成者	中村 純一	
建築面積	4,305 m ²	確認日		
延床面積	4,186 m ²	確認者		

1 CASBEE評価結果

■ 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)



■ ライフサイクルCO₂排出性能 (ランク表示)



BEE = 0.8

■ BEE (環境効率) = $\frac{Q \text{ (環境品質)}}{L \text{ (環境負荷)}}$

■ 環境効率評価基準

ランク	ランク表示	評価	判定値	
			BEE値	Q値
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上
A	★★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—
B ⁺	★★★★	良い	1.0以上1.5未満	—
B ⁻	★★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—
C	★★	劣る	0.5未満	—

■ ライフサイクルCO₂ 排出性能評価基準

判定値 (排出率)	ランク表示
30%以下	☆☆☆☆☆
30%超60%以下	☆☆☆☆
60%超80%以下	☆☆☆
80%超100%以下	☆☆
100%超	☆

排出率

86%

2 熊本県重点評価結果

■ 重点事項総合評価

	評価点
	79

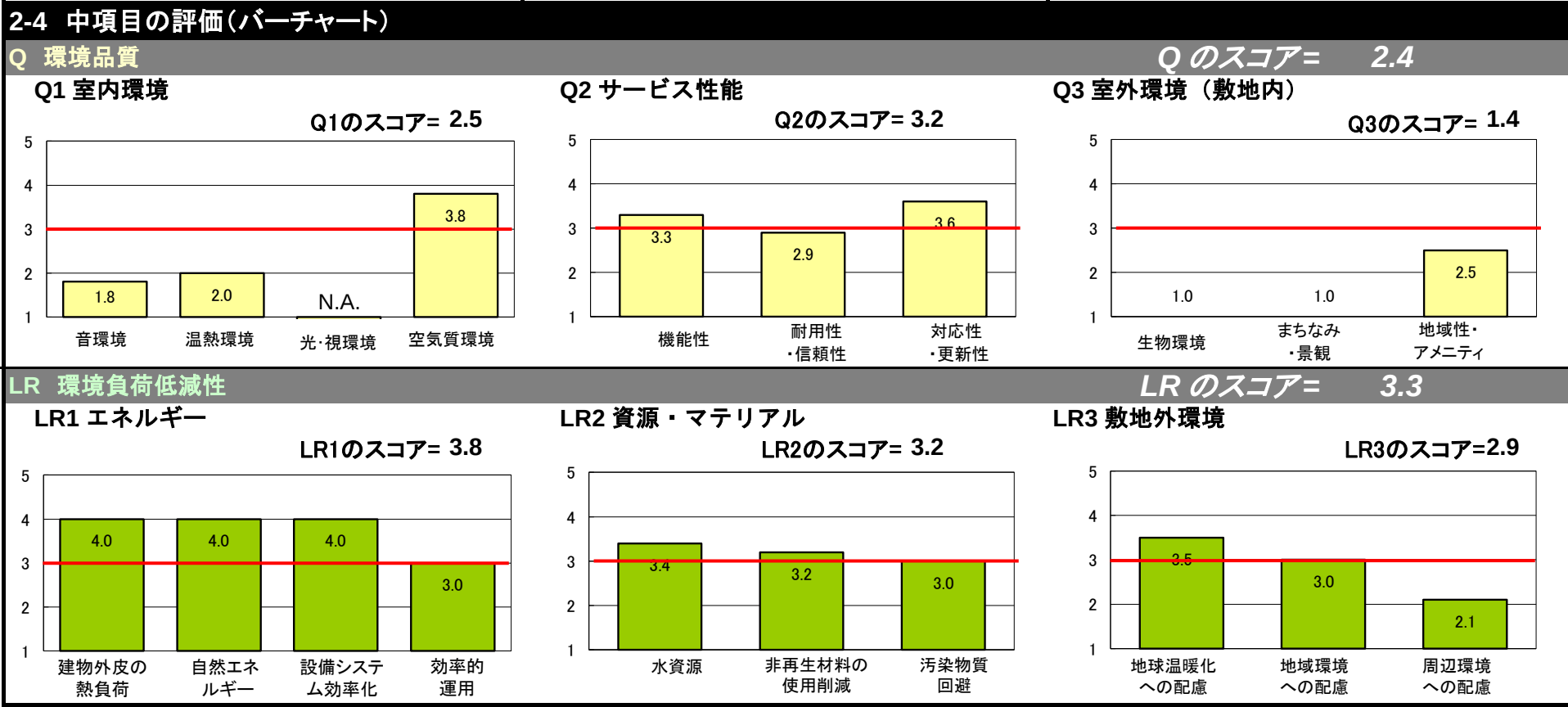
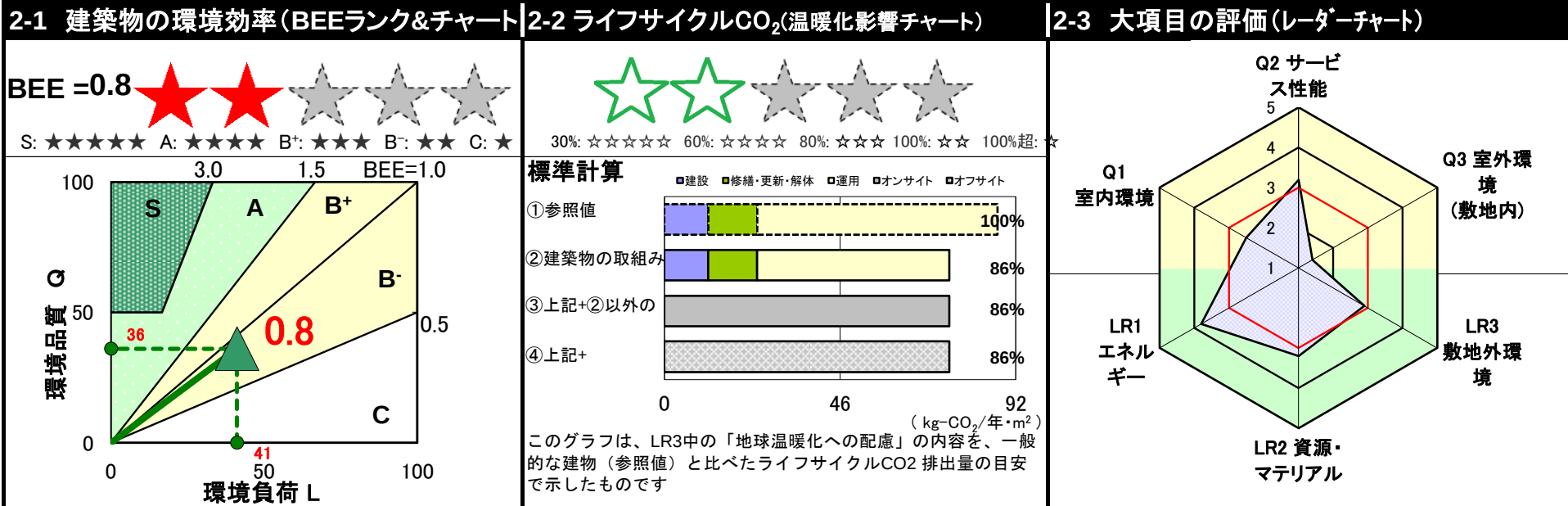
		評価点	■熊本県重点評価基準	
【重点事項1】	温室効果ガス排出量削減の推進	91.2	判定値(評価点)	ランク表示
			100点以上	
【重点事項2】	安全安心で暮らしやすい社会の実現	65.0	80点以上100点未満	
【重点事項3】	県の地域資源の有効活用と保全	65.0	60点以上80点未満	
【重点事項4】	循環型社会の実現	84.7	40点以上60点未満	
			40点未満	

※評価点は、100点以上が推奨です。

CASBEE® 熊本《新築》 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)まるみつ浜線店	階数	地上2F
建設地	熊本県熊本市南区田迎6丁目99-1	構造	S造
用途地域	都市計画区域内 準工業地域	平均居住人員	1,000 人
気候区分	6地域	年間使用時間	4,300 時間/年
建物用途	集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年3月 予定	評価の実施日	2016年11月1日
敷地面積	10,918 m ²	作成者	中村 純一
建築面積	4,305 m ²	確認日	
延床面積	4,186 m ²	確認者	



■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2014年版 (仮称)まるみつ浜線店			■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版		■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)	
スコアシート 実施設計段階			欄に数値またはコメントを記入			
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						2.4
Q1 室内環境			0.40		-	2.5
1 音環境		1.8	0.23	-	-	1.8
1.1 騒音		1.0	0.40	-	-	
1.2 遮音		3.0	0.40	-	-	
1 2 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	-	
2 界壁遮音性能		3.0	-	3.0	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-	
1.3 吸音		1.0	0.20	3.0	-	
2 温熱環境		2.0	0.44	-	-	2.0
2.1 室温制御		3.0	0.50	-	-	
1 室温		3.0	0.50	3.0	-	
2 外皮性能		3.0	0.17	3.0	-	
3 ゾーン別制御性		3.0	0.33	-	-	
2.2 湿度制御		1.0	0.20	3.0	-	
2.3 空調方式		1.0	0.30	3.0	-	
3 光・視環境		-	-	-	-	-
3.1 昼光利用		-	-	-	-	
1 昼光率		3.0	-	3.0	-	
2 方位別開口		-	-	3.0	-	
3 昼光利用設備		3.0	-	3.0	-	
3.2 グレア対策		-	-	-	-	
1 昼光制御		2.0	-	3.0	-	
3.3 照度		3.0	-	3.0	-	
3.4 照明制御		3.0	-	3.0	-	
4 空気質環境		3.8	0.33	-	-	3.8
4.1 発生源対策		5.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質	ほぼ全てにF☆☆☆☆を使用	5.0	1.00	3.0	-	
2 アスベスト対策		-	-	-	-	
4.2 換気		3.0	0.30	-	-	
1 換気量		3.0	0.50	3.0	-	
2 自然換気性能		3.0	-	3.0	-	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	-	
4.3 運用管理		2.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視		1.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御		3.0	0.50	-	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.2
1 機能性		3.3	0.40	-	-	3.3
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	-	-	
1 広さ・収納性		3.0	-	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応		3.0	-	3.0	-	
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	-	-	
1 広さ感・景観		3.0	-	3.0	-	
2 リフレッシュスペース		3.0	-	-	-	
3 内装計画		3.0	1.00	-	-	
1.3 維持管理		4.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計	トイレの床はタイル貼り	4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保	掃除庫、ゴミ庫を設けている	4.0	0.50	-	-	
3 衛生管理業務		-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性		2.9	0.30	-	-	2.9
2.1 耐震・免震		3.0	0.50	-	-	
1 耐震性		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.2	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水:VLP、排水:VP	5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	

	2.4 信頼性			2.6	0.20	-	-		
	1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-		
	2	給排水・衛生設備		2.0	0.20	-	-		
	3	電気設備		3.0	0.20	-	-		
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-		
	5	通信・情報設備		2.0	0.20	-	-		
3 対応性・更新性				3.6	0.30	-	-	3.6	
	3.1 空間のゆとり		壁長さ比率 0.1以下	5.0	0.30	-	-		
	1	階高のゆとり		3.0	-	3.0	-		
	2	空間の形状・自由さ		5.0	1.00	3.0	-		
	3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	-		
	3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-		
	1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-		
	2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-		
	3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-		
	4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-		
	5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-		
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-		
	Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-		-
1 生物環境の保全と創出				1.0	0.30	-	-	1.0	
2 まちなみ・景観への配慮				1.0	0.40	-	-	1.0	
3 地域性・アメニティへの配慮				2.5	0.30	-	-	2.5	
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50	-	-		
	3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-		
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.3	
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.8	
1 建物外皮の熱負荷抑制			モデル建物法 BPI _m 0.71	4.0	0.20	-	-	4.0	
2 自然エネルギー利用			屋上に採光用窓を設置	4.0	0.10	-	-	4.0	
3 設備システムの高効率化			BEI 非住宅 0.80 住宅(専有部)	4.0	0.50	-	-	4.0	
	集合住宅以外の評価(3a.3b)		LED照明など効率の良い機器を採用	4.0	1.00	-	-		
	集合住宅の評価(3c)			-	-	-	-		
4 効率的運用				3.0	0.20	-	-	3.0	
	集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-		
	4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-		
	4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-		
	集合住宅の評価			-	-	-	-		
	4.1	モニタリング		3.0	-	-	-		
	4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-		
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.2	
1 水資源保護				3.4	0.20	-	-	3.4	
	1.1 節水		電動水洗、節水便器の採用	4.0	0.40	-	-		
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-		
	1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-		
	2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-		
2 非再生性資源の使用量削減				3.2	0.60	-	-	3.2	
	2.1 材料使用量の削減		ー 木質系セメント板(「屋根下地」 ビニル系床材(2階床) 構造部材はボルト接合	2.0	0.10	-	-		
	2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-		
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-		
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			4.0	0.20	-	-		
	2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-		
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			4.0	0.20	-	-		
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.20	-	-	3.0	
	3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-		
	3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-		
	1	消火剤		-	-	-	-		
	2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-		
	3	冷媒		3.0	0.50	-	-		
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	2.9	
1 地球温暖化への配慮			ライフサイクルCO2排出率 86%	3.5	0.33	-	-	3.5	
2 地域環境への配慮				3.0	0.33	-	-	3.0	
	2.1 大気汚染防止		立駐による駐車場の確保	3.0	0.25	-	-		
	2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-		
	2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25	-	-		
	1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-		
	2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-		
	3	交通負荷抑制		4.0	0.25	-	-		
	4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-		
3 周辺環境への配慮				2.1	0.33	-	-	2.1	
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-		
	1	騒音		3.0	0.33	-	-		
	2	振動		3.0	0.33	-	-		
	3	悪臭		3.0	0.33	-	-		
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			1.6	0.40	-	-		
	1	風害の抑制		1.0	0.70	-	-		
	2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-		
	3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-		
	3.3 光害の抑制			1.6	0.20	-	-		
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		1.0	0.70	-	-		
	2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-		

CASBEE[®] 熊本《新築》【配慮事項】

4 設計上の配慮事項

総合

断熱性能の向上や省エネ機器の採用により、環境負荷の低減を図る。

Q1 室内環境

内装材はほぼ全てF☆☆☆☆を使い、シックハウス対策に配慮する。

Q2 サービス性能

トイレ床は磁器質タイルを使用し、汚れにくく清掃しやすいものを採用する。

Q3 室外環境（敷地内）

特になし

LR1 エネルギー

省エネルギー基準をクリアする断熱性能および省エネ機器とする。

LR2 資源・マテリアル

節水の図れる機器の採用を図る。

LR3 敷地外環境

立体駐車場を設け、交通負荷抑制を図る。

その他

特になし

熊本県重点評価結果スコアシート

実施設計段階

建物名称

(仮称)まるみつ浜線店

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

■使用評価マニュアル: CASBEE熊本《新築》2015年版

★熊本県重点評価結果				総合評価点		79
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)		スコア	重み 係数			
① 温室効果ガス排出量削減の推進				91.2	0.40	36.48
Q1-2.1.2	外皮性能	3.0	0.15			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.00			
Q1-3.2.1	昼光制御	2.0	0.00			
LR1-1	建物外皮の熱負荷抑制	4.0	0.15			
LR1-2	自然エネルギー利用	4.0	0.20			
LR1-3	設備システムの高効率化	4.0	0.30			
LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.10			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	4.0	0.10			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現				65	0.20	13.00
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	3.0	0.25			
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25			
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.15			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	2.5	0.20			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.15			
③ 県の地域資源の有効活用と保全				65	0.20	13.00
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	1.0	0.20			
LR2-1.1	節水	4.0	0.30			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.20			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	2.0	0.30			
④ 循環型社会の実現				84.7	0.20	16.94
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.2	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	3.6	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	4.0	0.15			

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数) の総和
※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①～④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数) の総和 × (5/4) × 20
※重み係数の総和は、「1」であること。
※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数